

●バーデン・ビュルテンベルグ州（ドイツ）へ姉妹提携交渉 八三年夏

八二年十一月、西ドイツ（当時）バーデンビュルテンベルグ州（以下 BW 州）より交流の申し入れがあり、翌年五月横浜で投資セミナーが開催されたりして交流への機運が高まった。そこで八三年夏、知事の名代として BW 州との交流について具体的に協議するためシュツツガルトの州政府を訪問した。同行は秘書室折原（後に神奈川県東京事務所長）、商工部尾高（後に副知事）の両君、通訳はボン在住の政治学者・仲井斌君（神奈川県欧州事務所長、後に成蹊大、専修大教授）。同君の名通訳による高度なアシストのお陰で、無事使命を果たすことができた。

使命帯びボン空港に降りたちて あごひげの友とひしと抱き合う

BW 州との友好提携進むらん 初顔合わせは上々の首尾

明くる日は経済省から首相府へ ゲストのランク格上げとなる

首相府の書齋の間に招じられ 官房長官と会談二時間

（シュペート首相は南米出張中で官房長官との会談がセットされた）

「神奈川の頭脳センター ベリグッド 直ちに輸入！」と盃挙げる経済相

（経済大臣は長洲知事の「頭脳センター構想」―神奈川を日本とアジアの科学技術のメッカにする、に共鳴、後に「構造政策」として採用）

山の端に月のハイデル（這い出る）ベルグかな（ハイデルベルグ見学 仲井君作）

アウトバーン飛ばして帰るボンの街 歓迎宴のドイツワイン佳し

ボンで見るお盆のような盆の月 にわか恋しふる里の盆

レマン湖に噴水立ちて虹かかり 虹の彼方にアルプス霞む（ジュネーブにて）